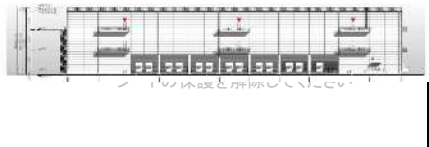


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木市猿ヶ島物流計画	階数	地上3F
建設地	神奈川県厚木市猿ヶ島字片池1番 外61筆	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年2月20日
敷地面積	35,986㎡	作成者	㈱フジター級建築士事務所
建築面積	12,309㎡	確認日	2023年2月21日
延床面積	36,477㎡	確認者	㈱フジター級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> サービス性能への配慮を行う。 資源、マテリアルの保護・使用量削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に無し。
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い部品部材を採用している。 ・空間のゆとり、荷重のゆとりを配慮している。
LR1 エネルギー ・特に無し。	LR2 資源・マテリアル ・節水型水栓に加え、節水型便器の採用。 ・部材の再利用可能性向上のため、LGS下地を採用。 ・グラスウール、断熱サンドイッチパネルの採用等、発泡剤を用いた断熱材を採用していない。
	Q3 室外環境(敷地内) ・特に無し。
	LR3 敷地外環境 ・大気汚染防止に配慮している。 ・光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される